

平成 26 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

cool Japan cool Bansyuori

—播州織再発見と西脇産ブランド発信—

2. 研究の目的

- 1 播州織産地としての、伝統ある織物や昔ながらの職人技を再発見し、世界に誇れる技術や日本の文化、織物の文化を理解するとともに、企業で使用されている織組織制作コンピュータシステムを導入し、播州織生産の最先端技術を身につけた将来の播州織スペシャリストを育成する。
- 2 消費者のニーズに応え、「売れる商品」の企画を研究する等、播州織製品のプランニング・デザイン・リサーチ・マーケティング・プロデュースをする力を身につけた地域産業を担う将来のスペシャリストを育成することを通して、地域産業を活かした新たな「家庭に関する専門学科」の在り方を研究する。
- 3 播州織のすばらしさとともに、NSH ブランド（西脇生活情報科ブランド）として、高校生の感性を生かして、地域で学んだ播州織技術と日本文化や西脇の文化を秘めたオリジナルブランドを世界に発信する。
- 4 播州織でつながる町づくりのすばらしさを再認識し、「播州織で織りなす町」を西脇高校から情報発信し、コミュニティづくりを行う。

3. 実施期間

契約日から平成 27 年 3 月 13 日まで

※ 最長で当該年度の 3 月 15 日（3 月 15 日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

4. 当該年度における実施計画

- 1 播州織生産の最先端技術を身につけた将来の播州織スペシャリストを育成する。
 - ① 織物の町、職人の織技術、日本の文化や織物の文化を再発見するとともに、ものづくりの心や技術の歴史を学び、地域産業への誇りと愛着を深める。
 - ② 兵庫県立繊維工業技術支援センターと連携し、最先端の織物技術を習得する。
 - ③ 企業で使用している最先端の織制作ソフトを導入し、活用する技術を習得するとともに、地元企業でのインターンシップを実施し、新しい柔軟な発想で織組織まで作り上げた「新・播州織」の提案を行う。

- ④ 新しいテキスタイル提案のために専門職、大学、専門学校等との連携やアパレル産業の第一線で活躍している卒業生と情報交換を行い、人脈の構築と「新・播州織」提案の活性化を図る。

2 地域産業を活かした新たな「家庭に関する専門学科」の在り方を提案する。

- ① 原則履修科目である「生活産業基礎」の代替科目として、学校設定科目「日本の伝統と地域産業」を設定し、地域の伝統産業に関する専門的な学習への動機付けや、卒業後の進路に向け生徒の意識を深める。
- ② 学校設定科目「日本の伝統と地域産業」において、「現代社会」と連携して地域の活性化とまちづくりを考える指導内容を研究する。
- ③ 消費者のニーズに応え、「売れる商品」の企画を研究する等、播州織のプランニング・デザイン・リサーチ・マーケティング・プロデュースをする力を習得させるための、教科「商業」における「ビジネス基礎」の内容を取り入れた科目「生活産業ビジネス（仮称）」を設定する。
- ④ 地域の専門学科と連携して、播州織の新しい素材やデザイン、製品の開発を行う。

3 NSHブランド（西脇生活情報科ブランド）を発信する。

- ① 播州織の良さと高校生の感性を活かし、播州織の新しい素材やデザイン、製品の開発を行う。
- ② 播州織を通して育まれた感性や日本文化の礼儀や技術を備えたNSHブランド（西脇生活情報科ブランド）をプロデュースする。
- ③ NSHブランドを世界に発信する。

4 播州織で織りなす町づくりを行う。

- ① 播州織を活用したさまざまなイベントや施設や団体と行っている交流を、西脇高校から情報を発信し、町のコミュニティづくりへと広げる。
- ② 学校設定科目「日本の伝統と地域産業」において、「現代社会」と連携して地域の活性化とまちづくりを考える指導内容を研究する。
- ③ 地域の活性化のため、西脇市や商工会議所と連携して、播州織でつながる町づくりを高校生ならではの感性で提案する。
- ④ 播州織の振興とその中心地である西脇市の活性化を目的とした産学連携プロジェクト（神戸芸術工科大学・関西学院大学）に参加し、連携して活動を進める。

5. 実施体制

(1) 研究担当者

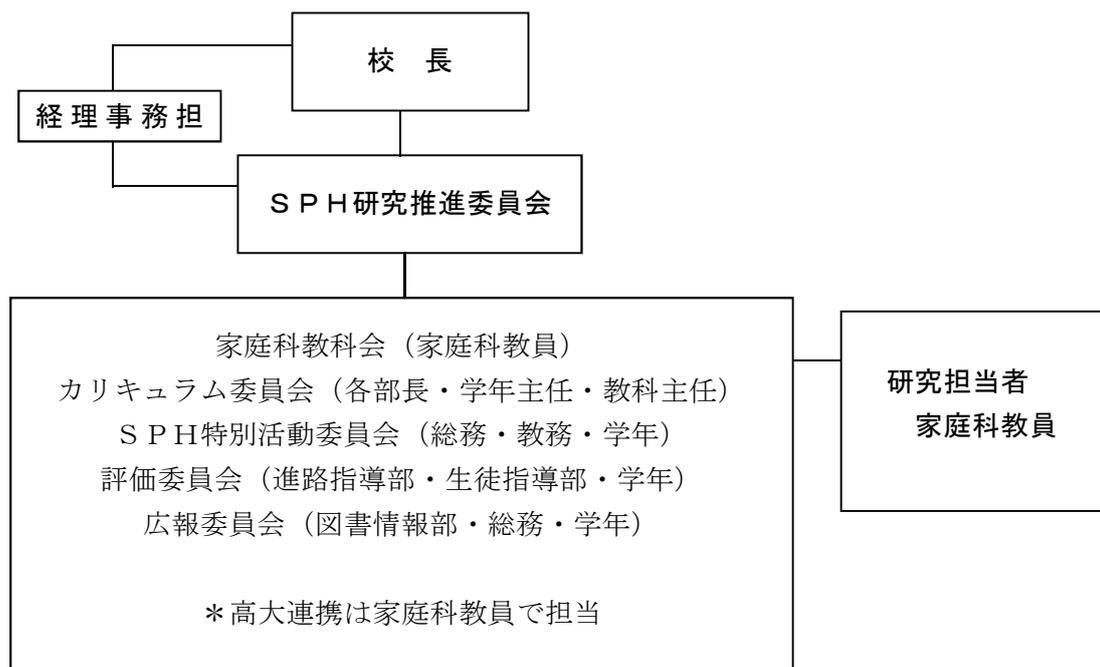
氏名	職名	役割分担・担当教科
松本安博	主幹教諭	カリキュラムの調整・社会
藤原容子	主幹教諭	全体企画・家庭
荻野敏久	教諭	情報配信

福田隆幸	教諭	情報配信
村上尚之	教諭	地域産業連携
古泉真悟	教諭	地域産業連携
常深まゆみ	教諭	コンピュータ管理・家庭
宮田麻美	教諭	地域連携・家庭
中山智子	教諭	商品開発・家庭
市川和代	教諭	商品開発及び記録・家庭
西田美加	本校講師	商品開発・カラーコーディネート
石古敬子	主任実習助手	経理文書担当

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
古谷 稔	兵庫県繊維工業技術支援センター長	関係行政機関
斎藤太紀雄	地場産業開発機構・理事長	関係行政機関
細川喜美博	西脇市企画政策課・課長	関係行政機関
戸田雅人	西脇市商工観光課・課長	関係行政機関
井上真理	神戸大学 人間学科発達研究科	学識経験者
ひろいのぶこ	京都市立芸術大学・教授	学識経験者
岸上龍平	神戸親和女子大学・教授	地域連携・マーケティング
山田浩之	上田安子服飾専門学校・学科長	デザイン
田仲留美子	神戸ファッション専門学校	デザイン
清水道子	県教育委員会高校教育課・指導主事	関係教育行政機関

(3) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 播州織の再発見と最先端技術から「新・播州織」発信できる人材育成	アンケート	現場見学講義			テキスタイル提案		織物	製品化				
2 播州織製品の発信	織組織	技術講習	ブランド企画製作	デパート販売	アンテナショップ販売							
3 「播州織で織りなす町づくり」発信		講義	演習	町づくり企画発表	実践							
4 NSHブランド発信	イメージマップ作成	オリジナル企画	ファッションショー情報発信		ファッションショー			ファッションショー				
											実践発表会及びパンフレット制作	記録まとめ

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有 (無)

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載